

理事長あいさつ

いま、日本が危うい。

戦後70年、日本は憲法9条を護り、日本の軍隊が人間を一人も殺すことはありませんでした。日本は平和の国として世界の人々から認められてきたのです。ペシャワール会の中村哲先生も、戦乱の国アフガニスタンで活動ができています。

しかし今、安倍首相らは日本を戦争の出来る国へと変えようとしています。日本の自衛隊が一発でも銃弾を発射したら、一人でも殺したら、「平和の国」はぶっ飛んでしまいます。

いま、世界に必要なのは「食料と鉛筆とワクチン」です。軍隊に使うお金で食料を買い、学校を造ろう。井戸を掘り、灌漑用水をめぐらせて食料を作ろう。教師、医師、看護師を養成しよう。ワクチンを世界中の子供たちに接種しよう。餓えることも殺されることもない世界を作るには、日本の平和憲法の不戦の誓いを世界中の国の憲法にすることです。兵器と原発を輸出しよ

うとしている安倍首相は間違っています。

人の終焉の時を見守り、家族と共に幸せな時間が作れるように、私たちは心を配っています。そうした日常が一瞬にして破壊される戦争には絶対反対です。原発も廃止すべきです。

平和であってこそ、私たちの仕事もホスピス祭りも、命を輝かせるのです。

2014年7月

医療法人 どちらペインクリニック

理事長 土地邦彦



セラピードッグ「リリー」ちゃん

2014年4月にとっても可愛いセラピードッグ「リリー」ちゃん（ゴールデンレトリバー メス 1才）が、玉穂ふれあい診療所の仲間に加わりました。患者さんはじめご家族、職員みんなリリーに癒やされています。先月のホスピス祭りでボランティアさんが犬小屋に絵を描いてくださいました。明るい思いに囲まれてリリーちゃんも幸せそうです。ご協力ありがとうございました。



新入職員の紹介

前列左から病棟看護師の松本 恭子、滝川 千尋、病棟アシスタントの福嶋 紘子。後列左から放射線技師の矢崎 実、医療事務の加賀美 公一、江口 陽介。みなさん、よろしくお願い致します。

つくしんぼ27号編集後記

5月25日（日）晴天の下、「第12回DPCホスピス祭り」が盛大に行われました。“輝け！いのち ～地域で支えるみんなのシンフォニー～”ホスピス祭りも12回目をむかえ、さまざまな音色が、笑顔のシンフォニーを奏でていました。これもひとえに祭りを支えてくれる、多くの方々の力の結集によるものと実感しています。当診療所が「いのちに寄り添う医療」を行う、心のよりどころとして、皆様の支えがあると改めて感じるものでもありました。本当にありがとうございました。今後とも、どうぞ変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

DPCホスピス支援の会だより
つくしんぼ～27号～
山梨県中央市成島2439-1 玉穂ふれあい診療所内
TEL055-278-5670 <http://www.dpc-hos.or.jp>
医療法人どちらペインクリニックのホスピスを支援する市民の会
代表 吉田永正

編集委員 佐野利恵子 井上三紀子 佐野しげ子
小澤敏幸 加賀美公一

つくしんぼ

DPCホスピス支援の会だより

-ホスピスを市民の手で-

～第27号～

～第12回ホスピス祭りのプレゼント～ 人とひとの和が輪になって

地域に根ざす医療を そして 人のいのちに寄り添う医療を目指す医療法人どちらペインクリニックのホスピス祭りが、5月25日に盛大に行われました。

遠近各地より馳せ参じてボランティアしてくださった方々、尊い品々をご提供してくださった方々、通院治療等でご縁を頂いた方々やそのご家族の皆様、そのほかありとあらゆる形で、このいのちの輝きを求めるホスピス祭りに大勢の方々の心温まるご支援ご協力を頂き、心から御礼申し上げます。

おかげさまで、第12回のホスピス祭りも人とひとの心の和が連結して大きな輪となって、有意義なお祭りを盛り上げてくれました。12回という尊い歴史をもてることに誇りを持つとともに、ここまでご支援くださった皆様に感謝の思いでいっぱいです。

いま、市民にとって、いのちってなあに？生きるってなあに？特に終末期に医療でのいのちの寄り添うってなあに？という具



医療法人 どちらペインクリニック
ホスピスを支援する市民の会

代表 吉田永正

体的な問題点がこのお祭りを進めていきながら少しずつ見えてきたと思います。お祭りというのは、そのもとになる魂のエネルギーをつかむことだろうと思います。大勢の方々のご支援がそれを物語っています。

私たち、医療法人どちらペインクリニックのホスピスを支援する市民の会はさらにクリニックの日常の医療業務で、その尊いいのちの生きる輝きの哲学が発揮できるよう支援活動を進めてまいりますので、これからも皆様方の尊いご支援ご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。



第12回DPCホスピス祭り

今回のお祭りの収益金は¥410,000でした。

2団体（キャンナス、大きな木）へ¥150,000を
寄付させていただくことが出来ました。

ご支援ご協力ありがとうございました。



The bright
The dark

